

消防局予算の概要

1 予算編成に当たっての考え方

阪神・淡路大震災から20年を経過した節目を機に、27年度は「安心都市・京都」の実現に向けた取組の更なる推進を図るため、あらゆる災害に的確・果敢に立ち向かう「力強い消防」を維持、向上させるとともに、「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、各地域において共助の取組の中心として活動されている、自主防災組織の災害対応力の更なる向上について重点的に予算を計上している。

とりわけ消防体制については、四条消防出張所の移転整備に向け、工事に着手するとともに、老朽化が著しい室町消防出張所の建替え整備に向けた実施設計を行うなど、活動拠点施設の整備を実施する。

また、25年の台風18号等を教訓として、水災害対応訓練施設を設置し、教育訓練機能を充実するほか、都市型水害対策車両を整備することで、水災害対応力を強化する。

消防団体制では、地域防災力の中核を担う消防団員のより一層の処遇改善を図るため、消防団報酬制度を創設する。

さらに、消防団員が高等学校において、消防団の活動体験を中心とした防災教育を実施し、防災活動等に参加する素地を養う、消防団防災ハイスクール事業を新たに実施する。

自主防災組織の充実については、地域事情に応じた避難行動等がとれるよう学区単位の防災行動マニュアルを策定するほか、幼少年に対する防火・防災教育を充実することで、子育て世代の訓練参加を促し、より幅広い世代と共に防火防災に取り組み「地域密着型の消防」をより一層推進していく。

2 主な新規・充実事業

<政策的新規・充実事業>

四条消防出張所移転整備	68,000千円
室町消防出張所整備	33,000千円
水災害対策の充実強化	150,500千円
消防団報酬制度の創設	170,000千円
防災行動マニュアルの策定	4,800千円

<局枠等新規・充実事業>

消防団活性化事業（消防団防災ハイスクール）	
	全体事業費 7,200千円（うち充実分 1,000千円）
自主防災組織の育成指導（幼少年に対する防火・防災教育の充実）	
	全体事業費 8,150千円（うち充実分 1,000千円）

3 消防局主要施策の概要

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
< 消防局所管 >	一般会計合計	千円 22,709,000	千円 22,808,000
1 消防体制		21,967,800	22,035,000
消 防 対 策	消防活動拠点施設の整備 四条消防出張所移転整備 <政策枠> 室町消防出張所整備 <政策枠> 消防水利整備 耐震型防火水槽 100m ³ 級 2基 消防自動車整備 消防ポンプ車, 高規格救急車など 水災害対策の充実強化 <政策枠> 消防防災通信ネットワークの構築 消防救急無線デジタル化整備 救急高度化事業 メディカルコントロール体制の充実 応急手当の普及啓発	101,000 48,000 256,500 150,500 825,000 104,000 8,000	20,000 78,000 425,500 - 1,676,000 96,000 9,000
予 防 対 策	予防消防推進 修学旅行生を受け入れるホテル・旅館等の防火改修助成 など 文化財防火対策	75,000 5,000	55,000 5,300
2 消防団体制		716,900	754,500
消 防 団 対 策	消防団管理 消防団退職報償金 消防団100人委員会U-35の推進 消防団防災ハイスクール <新規> など 消防団活動 消防団報酬制度の創設 <政策枠> 出動手当など	311,400 332,000	328,800 233,000

(消防局-1)

項 目	主 要 施 策 の 概 要	本年度予算額	前年度予算額
		千円	千円
	消防団運営 京都市消防団協会交付金	42,000	51,300
	消防団施設補助	25,000	25,000
	消防団車両整備	6,500	17,500
3 自主防災組織の充実		24,300	18,500
自主防災組織の育成	自主防災組織の災害対応力の充実 防災行動マニュアルの策定 幼少年に対する防火・防災教育の充実 自主防災上級研修 など	24,300	18,500
	<政策枠>		
	<新規>		